

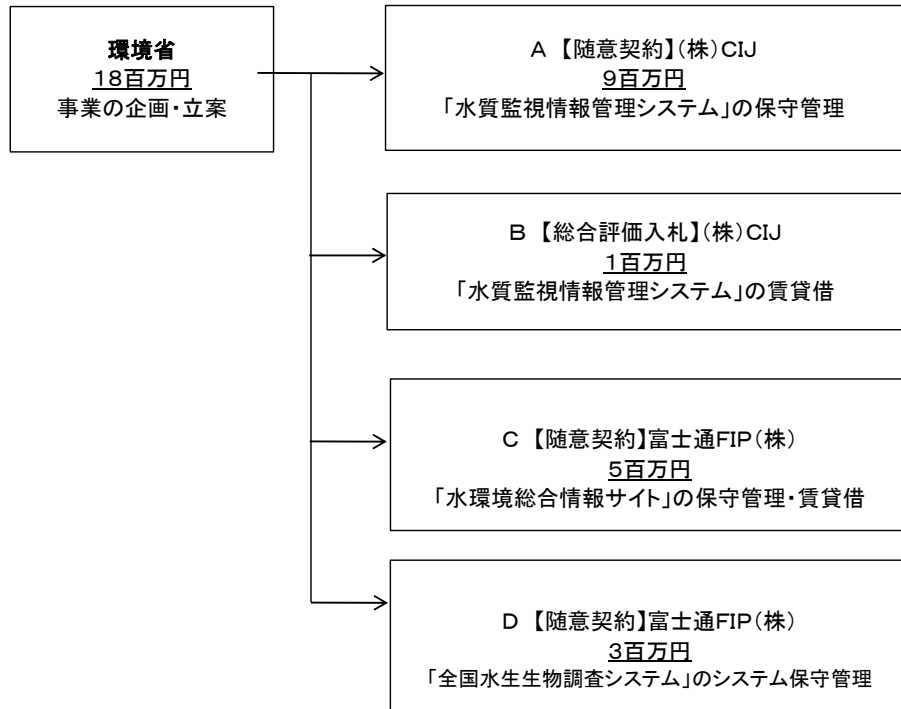
平成23年政事業レビューシート

(環境省)

事業名		水質関連情報利用基盤整備費		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成23年度		担当課室	水環境課		水環境課長 吉田 延雄		
会計区分		一般会計		施策名	3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全を含む)				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		-		関係する計 画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)		システムを用いて効率的に常時監視結果の収集を行うとともに、広く国民に水環境関連情報をわかりやすく発信することにより、水環境保全施策の推進に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)		「水質監視業務関連システム」、「水質環境総合管理情報システム」及び「全国水生生物調査システム」について、システムの保守・管理するとともに、システム更新を行い、システムの効率的な一括運営を行う。							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予 算 の 状 況	当初予算	115	70	19	29	17	
			補正予算	0	0	0	0		
			繰越し等	0	0	0	0		
			計	115	70	19	29	17	
		執行額	117	78	18				
執行率 (%)	101.7%	111.4%	94.7%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
		国民への情報発信と安定したシステムの運用のための事業であり、定量的な成果目標の設定は困難		成果実績				-	
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
		水環境関連情報の提供・更新等 ・公共用水域水質データ ・水浴場水質データ など		活動実績	-	・H19年度データ更新 ・「平成の名水百選」のHP設置	・H20年度データ更新 ・「水質監視業務関連システム」運用開始	・H21年度データ更新	・H22年度データ更新
		システム障害(1時間以上の停止)		(当初見込み)	件	0 (0)	0 (0)	0 (0)	- (0)
単位当たり コスト		(円/)		算出根拠	システムの保守・管理に係る経費であり、多機能のシステムであるため、「単位」を設定できない。				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	環境保全調査費	29	17	新規のシステム、ソフトウェアの購入を見送ることにより、予算額の削減を図った。					
	計	29	17						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○関連システムを統合し、事業を効果的に実施するとともに、予算の効率化を図っている。</p> <p>○水環境関連情報の提供のために、今後も引き続き、システムの保守・管理が必要であるが、安定的なシステム運営を図っていく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>システム運営に係る軽費であり、システムの要・不要を精査した上で、必要最低限な要求となるよう留意すること。また、国民によりわかりやすく情報を提供できるよう努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>新規のシステム、ソフトウェアの購入を見送ることにより、予算額の削減を図った。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)CIJ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	水質監視情報管理報告システム機器 保守業務	9			
計		9	計		0
B.(株)CIJ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	水質監視情報管理報告システムの機 器賃借、情報システム開発等業務	1			
計		1	計		0
C.富士通FIP(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	水質環境総合管理情報システムの賃 借及び保守業務	5			
計		5	計		0
D.富士通FIP(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	全国水生生物調査システムの再統合 及び運用支援業務	3			
計		3	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)CIJ	水質監視情報管理報告システム機器保守業務	9	随意契約	非公表

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)CIJ	水質監視情報管理報告システムの機器賃貸、情報システム開発等業務	1	4	64.2%

※平成20年度契約の国庫債務負担行為

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通FIP(株)	水質環境総合管理情報システムの賃貸借及び保守業務	5	随意契約	99.2%

※平成20年度契約の国庫債務負担行為

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通FIP(株)	全国水生生物調査システムの再統合及び運用支援業務	3	随意契約	78.4%

※平成21年度契約の国庫債務負担行為